

建設技術公開「EE東北'26」に出展

株式会社オリエンタルコンサルタンツ（代表取締役社長：野崎秀則）は、2026年6月3日(水)～6月4日(木)の2日間、みやぎ産業交流センター「夢メッセみやぎ」（宮城県・仙台市）で開催された建設技術公開「EE東北'26」に出展いたしました。当イベントにおける出展技術数は966技術、総来場者数は16,700人でした。

弊社は、「広域連携によるネットワーク型インフラ包括的民間委託」、「DXを活用した河川管理」、「オープンデータを活用した交通状況配信」の3技術を紹介しました。また、弊社、株式会社エイテック、株式会社アサノ大成基礎エンジニアリングのグループ企業3社での共同出展により、オリエンタルコンサルタンツホールディングスとしてのワンストップサービスを発信しました。一例として、エイテックの都市モデル高度化技術とオリエンタルコンサルタンツの交通シミュレーションやBIM/CIMなどの技術を組み合わせることによって、計画段階から仮想空間上で当該事業の効果検証を行うことにより、円滑な合意形成に貢献した実績などをPRしました。

ブースには行政、企業、学校関係者など合計615名にお越し頂き、盛況のうちに終えることができました。ご来訪いただいた皆様、誠にありがとうございました。

《開催概要》

主	催	: EE 東北実行委員会（委員長／東北地方整備局企画部長）
開	催	日 時 : 2026年6月3日(水)～6月4日(木)
会	場	: みやぎ産業交流センター「夢メッセみやぎ」屋内展示場及び屋外展示場 〒983-0001 仙台市宮城野区港3-1-7

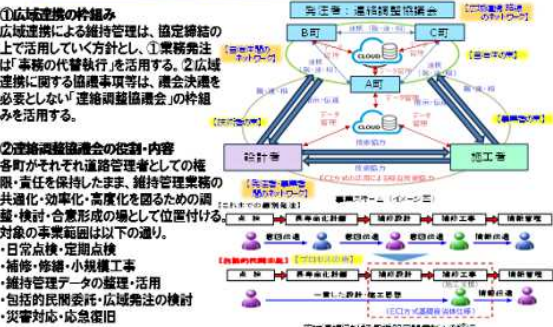


広域連携によるネットワーク型 インフラ包括的民間委託

◎広域連携のための事業スキーム導入<5つのポイント>

- 広域連携による効率的・効果的な道路維持管理の仕組み**
 - 「業務の代替執行」を活用した業務委託の検討、委託業務は1町がまとめて積算・発注申請、発注の実施
 - 「業務調整委員会」の仕組みを活用した意思形成の実施、構成する各町が道路維持費として負担・責任を分担
- 広域連携による維持管理と災害に強い道路ネットワークを両立する仕組み**
 - 日常・定期点検に基づく健全度評価だけでなく、地震、水害、その他のハザードに対する中・長期的な観点でのリスク評価を融合させた維持管理計画の策定
 - まずは、急務ではなく、各町が重要と思う路線を対象に連携ネットワークを構築し、管理計画を策定
- DXを活用した効果的な道路維持管理手法の構築**
 - DX活用の上乗りの具体的なタイミングの策定と同様に地元企業との育成
- 事業モデル活用効果の推計**
 - 維持管理サイクルにおいて期待される定性的な効果も分析
 - コスト削減等の期待される定量的な効果も分析
- 導入までのロードマップの作成**
 - ロードマップ策定の目的を策定、維持管理体制の表玉、導入段階の実装を踏まえてロードマップを策定

◎事業スキーム構築におけるポイント(仕組みの構築)



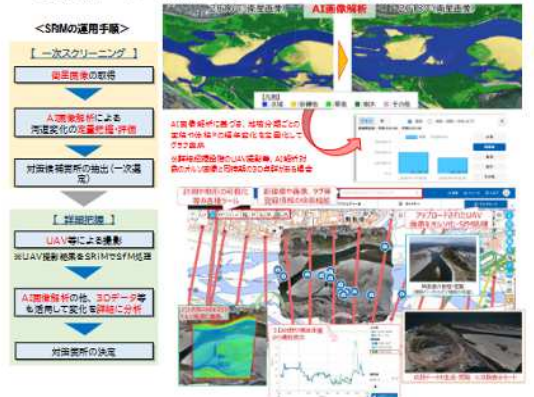
株式会社 オリエンタルコンサルタンツ
株式会社 オリエンタルコンサルタンツホールディングス

DXを活用した河川管理

～治水と環境の両立を目指すネイチャーポジティブな川づくり～

◎河道変化の把握・評価をAI解析等で効率化・高度化

- クラウドサービス「SRM」で蓄積すべき河川の状態変化を定量化、留意すべき箇所をアラート通知
- 衛星画像+AI解析で河川全体(広域)の効率的スクリーニングと、絞り込んだ箇所に対する「UAV等」を活用した詳細把握で、留意すべき河道変化箇所の把握・評価を効率化、適時の対応判断を実現。
- 「SRM」はAI解析・アラートに加えて、データの一元管理と様々な機能で、この一連のプロセスを支援。河道状態の把握・分析は、治水と環境を両立を目指す「ネイチャーポジティブな川づくり」にも活用可能。



◎2023年度インフラメンテナンス チャレンジ賞を受賞

国土交通省木曾川上流河川事務所における本取組み「木曾川上流におけるAI画像解析等を活用した河川維持管理の効率化・高度化」は、土木学会インフラメンテナンス総合委員会が主催する「2023年度インフラメンテナンス チャレンジ賞」を受賞しました。AI等を活用し、対策判断に資する情報を定量的・効率的に得ることで、河川管理者の予防保全に貢献したことが評価されました。

株式会社 オリエンタルコンサルタンツ
株式会社 オリエンタルコンサルタンツホールディングス

流域治水

オープンデータを活用した 交通状況配信

～バス遅延×交通量データで状況の変化をリアルタイム検知～

(株)オリエンタルコンサルタンツでは、一般に公開されている道路交通に関するオープンデータを活用して、交通状況の変化をいち早く検知し、道路管理者・道路利用者の的確な意思決定をサポートする交通状況配信技術について提案いたします。

◎現在活用しているオープンデータ(今後も拡充予定)

- バスロケーションシステム:バスの遅延状況から道路の混雑状況を把握
- GTFS-RT(動的バス情報フォーマット):バスの位置情報から走行速度を把握
- xROAD(道路情報プラットフォーム):5分間交通量データから交通量の増減を把握
- GBFS:シェアサイクル情報フォーマット:シェアサイクルのポートの満空状況を把握

◎オープンデータを活用した交通情報配信システムの構築

公共交通の遅延情報(バスロケーションシステムやGTFS-RT)をリアルタイムに収集・分析し、任意の区間における遅延時間を算出するとともに、通常と異なる交通状況を閾値に基づいて判定し、結果を担当者メール等で配信するシステムを構築しました。



株式会社 オリエンタルコンサルタンツ
株式会社 オリエンタルコンサルタンツホールディングス

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL : 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
URL : <https://www.oriconsul.com>
統括本部 伊藤・日原・丸山・門司